



- ・岡山県苫田郡鏡野町奥津温泉
- ・江戸末期 築160年の古民家
- ・元染物屋で屋号が紺屋(こうや)
- ・茅葺総二階(鏡野町で唯一)
- ・後に町長が購入し旅館営業
- ・2017年3月にリノベーション着手
- ・2018年4月に美術館開設
- ・夭折画家のコレクションを展示



- ・前庭からの風景
- ・1200m級の山々を望む
- ・旧国道を挟んで駐車場(元病院)
- ・前面道路はバス道(本数少)
- ・津山市まで R179で30分
- ・鳥取県倉吉市まで R179で人形峠を越え40分



秋の紅葉時が最高。奥津溪...等



冬は最悪。恩原高原スキー場まで20分。

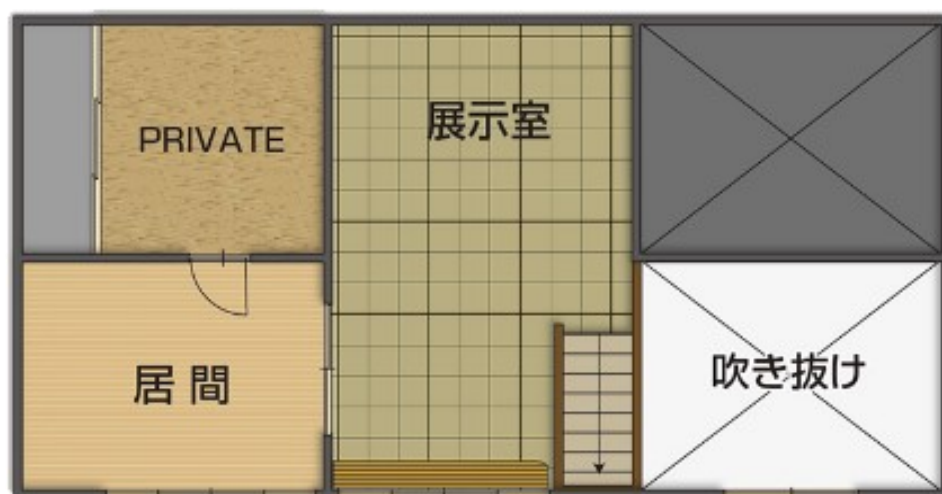
資料 2 (図面:リノベーション後)

1 階

- ・ジャッキアップして補修。
- ・飲食店営業許可取得。
- ・消防の手直し … 壁を強化ガラスに再工事



2 階





- ・玄関に蔵戸(東北地方産)を設置



- ・玄関横の戸袋(江戸末期)
檜材で細工が施されている
- ・板戸が無い
ため機能は無く飾り



- ・元は土間。かつては藍染の甕が設置されていたと伝わる。
- ・アンティーク煉瓦を敷き詰めた。
- ・正面に李朝のバンダジを設置。室町以前の発掘破れ壺を飾る。
- ・エントランスは白髪一雄、日比野克彦等の現代美術を展示。



- ・受付カウンター
- ・背後に洋書を並べて、歴史資料館的イメージを排除。非日常感。



- ・階段箆笥で二階展示場へ。
- ・階段の高さが原因で用途変更が(旅館⇒展示場)難航。



- ・展示室(入口は左手)
- ・天井が低いため床を撤去。
畳の下に張っていた、幅広栗材
を中央に再利用



- ・檜材の濡れ縁
超人気 隠崎隆一氏の作品展示
- ・明り取りの窓の所にサッシの鍵



- ・正面が栗材の床の間。
- ・その右の押入も床の間風に。
- ・左は、まわり縁



- ・展示室からエントランスを望む。
- ・一尺二寸(36cm)の極太大黒柱。
- ・さらに極太の梁。



- ・栗材の再設置した板の間に、秋田県角館周辺から出た蔵戸をテーブルとして設置。
木の迫力とのバランスをとった



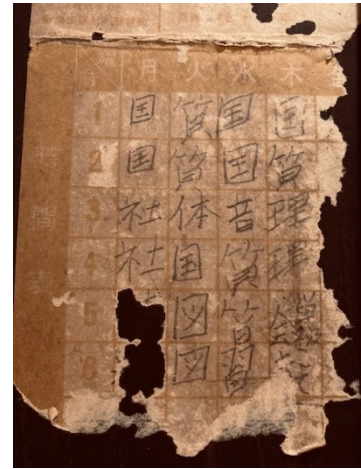
- ・樺材の大型幅広テーブルをオーダー。



資料 7 (展示室 その ③)



- ・元は子供部屋。押入等を改装。
- ・貼っていた時間割表を残した。



- ・展示室から厨房を望む。
- ・飲食店営業許可取得のため、その後ろに第2厨房設置。



- ・壁に円形硝子の展示棚を設置。
- ・壁の後ろは囲炉裏の間(月をイメージした障子を設置)





- ・エントランス側から見た厨房
- ・左は囲炉裏の間 入口



- ・囲炉裏の間から展示室方面を望む。



- ・展示室側から見た囲炉裏(オープン時)



- ・2階展示室
- ・若手作家の企画展、図書室として使用。



- ・2階カウンターは茶席として使用
山々が良く見える。
- ・撮影時は作品展示。



- ・二階から吹き抜けのエントランス
を見る。
- ・総二階のつくりのため、元は部
屋。